

令和2（2020）年度 島根大学教員免許状更新講習シラバス【選択領域】

講習名	【選択】発達理論に基づいた園児（乳・幼児）の指導			
授業形態	動画視聴・個人学習	時間数	6時間	定員 50名
受講期間	資料等送付予定日 令和2年10月3日（土）	履修認定 対象職種	教諭・養護教諭	
	修了認定試験等返送締切日 令和2年11月2日（月）（ 必着 ）	主な 受講対象者	校種【全校種】 教科【全教科・養護教諭】	
担当講師	樋口 和彦（島根大学学術研究院教育学系 准教授）			
到達目標	(1) 園児の発達を促進する要因を理解している。 (2) 園児の活動を発達・成長の視点から評価することができる。 (3) 発達の視点に基づいて、子どもの能動的活動を促す関係性・環境設定・文脈を理解している。			
講習の内容	乳・幼児期は、認知や言語、コミュニケーションなどに大きな変化を見せる時期です。この時期の子どもは、知覚・思考・想像・記憶・判断などを活発に働かせて日々知識を増やしていきます。これまでの心理学では、「個人の認知能力」や「個人の発達」をとらえて「成長した」、「発達した」と評価することが基本でした。しかし、学習や発達に影響する、「環境」「人間関係」「文脈」等の文化的要因の重要性に着目されるようになってきています。これらの新しい視点を取り入れた指導の観点を示します。ケースの検討も行う予定です。 乳・幼児期は、後の発達・人格形成等に大きな影響を与えます。乳・幼児期の発達について理解を深める観点から児童・生徒の指導、特別支援教育に携わる教員も対象とする。 なお、本講習の内容は、基盤となる理論を「文化心理学」「生態心理学」においているため、同一講師の「言語・コミュニケーション発達の理論に基づいた障害がある子どもの指導の実際」と重複する部分がある。			
日程 ※個人ワークの進み具合によって、講習時間が多少変更となる場合があります。	80分間	（動画視聴・課題）文化心理学とは？：新しい発達観		
	80分間	（動画視聴・課題）保育所保育指針の内容を文化心理学的視点で考える：共同注意（人との関係の構築）		
	80分間	（動画視聴・課題）幼稚園教育要領の内容を文化心理学的視点で考える：言葉の発達・習得の促進（イメージすることや想像することの大切さ：認知能力）		
	80分間	（動画視聴・課題）事例検討		
	40分間	修了認定試験 事後評価アンケート記入		
試験方法	筆記試験（郵送、自筆）	試験時のノート・配布資料の参照	可	
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標にあげた内容を理解し説明できる。 ・総得点の6割以上を認定とする。 ・課題の提出により、講習への積極的な参加が認められる。 			
講習に関して各自準備するもの	・DVD（DVD-Video形式）の再生ができる機器。パソコンでの再生を行う際には、ソフトウェアが必要となる場合があります。			
事前課題	・特になし			
留意事項	10月3日 頃に資料、授業動画の入ったDVD、修了認定試験（問題・解答用紙）、免許状更新講習受講者評価書を更新講習システムに登録されている住所宛てに送付します。（ 10月7日 までに届かない場合は問い合わせください）動画を視聴し、指示に従って個人で課題を行ってください。課題は返送してください。 動画を視聴したうえで、修了認定試験および免許状更新講習受講者評価書に必ず自筆で回答をし、島根大学教師教育研究センターまで返送ください。資料および授業の動画の複製は認められません。DVDは講習終了後返送してください。 講義の内容に関する質問等にメールで対応します。 higuchi@edu.shimane-u.ac.jp までご連絡ください。			